

2016年5月21日

ピジョン株式会社



～赤ちゃんのすこやかな成長を願う豊かな森づくり活動～

第30回 ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン 植樹式

2015年生まれの赤ちゃんご家族120名が参加

5月21日（土）に茨城県常陸大宮市「ピジョン 美和の森」にて開催しました



ピジョン株式会社（本社：東京、社長：山下茂）は、5月21日（土）に、茨城県常陸大宮市の「ピジョン 美和の森」において「第30回ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン植樹式」を開催し、ご参加いただいた2015年生まれの赤ちゃんご家族とともに、ヤブツバキなど広葉樹の苗木、約150本を植樹しました。

30回目の節目を迎える今年の植樹式典には、全国から抽選で選ばれた植樹者代表の2人の赤ちゃんとそのご家族をはじめ、茨城県常陸大宮市長 三次真一郎様、常陸大宮市のマスコットキャラクター「ひたまる」くん、そして、約20人の赤ちゃんご家族にも参加いただきました。また、主催者としてピジョン株式会社代表取締役社長の山下茂らが出席しました。

今回の植樹では、2015年生まれの赤ちゃんご家族、そして、ピジョン社員、美和木材協同組合のスタッフが協力して、苗木を植えました。植樹を終えた後、美和の森のイベント広場で、茨城県郷土工芸の西ノ内和紙職人による「紙漉き」の実演・体験や地元の方々による「しいたけ種駒打ち」「やまぶき鉄砲」を親子で興じる姿も多くみられました。青空のもと、皆さんにイベントを楽しんでいただきました。

ピジョン美和の森には、今年の7月までに、コナラ（2500本）、クヌギ（2300本）、その他イロハモミジ、ヤマザクラなど約5000本の広葉樹の苗木が植樹される予定です。

ピジョンは「育児と育樹、心はひとつ」をスローガンに、親子の一生の思い出作りと、次世代の子どもたちのための森林保護を目的として、1986年より「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」をスタートし、1987年より植樹活動を毎年行ってきました。これまでに植えた木は13万本以上、大きなものは高さ10m以上に成長しています。赤ちゃん誕生という感動と喜びと、木を育てて環境づくりに貢献する喜びを共有し、そして、赤ちゃんの未来により多くの緑を残していきたいという思いを込めて、今後も植樹活動を継続して豊かな森づくりを進めてまいります。

一般の方からの問い合わせ先

赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン事務局 [TEL : 03-3531-8192](tel:03-3531-8192) Email : ikuju@pigeon.info

「第 30 回 ピジョン赤ちゃん記念誕生育樹キャンペーン植樹式」開催概要

- 日時 : 2016 年 5 月 21 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 00 (式典 9 : 30 ~ 10 : 45)
- 場所 : 茨城県常陸大宮市鷺子^{とりのこ}2488 ピジョン美和の森
- 内容 : 9 : 30 ~ 第 30 回 植樹式典 開会あいさつ
 主催者挨拶 ピジョン株式会社 代表取締役社長 山下 茂
 来賓者挨拶 常陸大宮市長 三次 真一郎 様
 植樹者代表 埼玉県草加市 鈴木 蒼真 (すずき そうま) くんご家族
 植樹者代表 常陸大宮市 加納 碧土 (かのう あおと) くんご家族
 式典招待家族(約 20 組)
 10 : 20 ~ 記念植樹・記念撮影
 11 : 00 ~ 一般招待家族来場(約 100 組)
 16 : 00 ~ 終了
- 主催 : ピジョン株式会社
- 後援 : 茨城県常陸大宮市
- 協力 : 美和木材協同組合
- 植樹参加者 : 約 120 人の赤ちゃんとそこご家族
- 植樹式に使用した苗 : ヤブツバキ
- 本日の植樹本数 : 約 150 本

第 31 回 ピジョン赤ちゃん誕生育樹キャンペーン 参加者募集中

「ピジョン美和の森」をいっしょに育ててくれる 2016 年生まれの赤ちゃんを現在募集中です。参加費は無料で、苗木の管理費用などは全てピジョンが負担します。特典として、ご応募頂いた赤ちゃん全員に参加の証として美和地区産のヒノキで作った木製ハガキ「森の住人票」をプレゼントいたします。さらに、応募者の皆様からお寄せいただいた未来のお子さまへのメッセージは「メッセージ集」として、「参加者名簿」と共に「美和の森」の中にあるログハウス内に残されます。また、2017 年 5 月に開催する「植樹式」に抽選で 100 組のご家族を招待します。本キャンペーンに参加されたご家族は、いつでも森を訪れることができ、植えられた記念樹の生長と共にお子さまの成長を実感していただけます。

なお、詳細につきましては、専用ホームページ (<http://www.pigeon.co.jp/i>) をご参照ください。

「植樹者代表および常陸大宮市長のコメント」

■ ^{かのう あおと}加納 碧士くんご家族（茨城県常陸大宮市在住 2015年5月26日生）

ピジョン美和の森がある^{とりのこ}鷺子は私が生まれ育った土地で緑豊かな場所です。30回という節目の年に息子の木を植樹することができて、本当にうれしく思っています。

25年前には私の姉の木、22年前には私の木を植樹しました。私たちの木とともに、息子の木もすくすく育てほしいと思います。そして、この木のように息子にもしっかり地に足を着けて、少しのことでは負けないよう成長してくれることを願っています。



■ ^{すずき そうま}鈴木 蒼真くんご家族（埼玉県草加市在住 2015年8月28日生）

記念すべき30回の節目に参加させていただき、たくさんの方々によって支えられ、植樹活動に長い歴史が刻まれていると実感しました。蒼真が生まれ、私たちの仕事や時間が変わりました。現在、私は保育士を派遣する仕事を、妻は子育て中のママの就業支援や、イベントのサポートをしています。新しい時間を、蒼真と妻と過ごし、あっという間に9カ月が過ぎました。これからも子供の成長とともに思い出を作っていきたい、そして親子2代、3代と植樹活動に参加していきたいと思いました。



■ 茨城県常陸大宮市長 ^{みつぎ しんいちろう}三次 真一郎 様

30回目の開催おめでとうございます。

ピジョンの大越会長には常陸大宮大使をお願いして市をPRいただいておりますが、植樹活動をこれからも50回、100回と続けていただきたいです。

先日パラオに行って参りましたが、大干ばつで水がない大変な状況で、常陸大宮市も義援金を送りました。世界で異常気象がみられますが、自然環境を守るためにも、この緑を増やしていかなければならない、手を抜かないで木を植えていかなければならないと改めて思いました。本日はこの美和の森に参加者の皆さんと植樹したいと思います。

